

登録番号	氏名	分野			内容	場 所		プログラム名	内 容	所要時間 (分)	対象				派遣対応地域			備考(準備物等)	オンライン対応
		事業	生活	自然		室内	野外				小学	中学	親子	一般	東予	中予	南予		
2001001	石川 和男			○	学習会		○	森のしくみを知ろう	身近な里山や森林に出かけて野鳥、虫、草花、落ち葉の下の虫などを観察し、生態系ピラミッドを描くことにより森のしくみについて理解を深めます。	50～90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装 20～30名程度	
2001001	石川 和男		○	○	講演	○		自然との共生をめざして	SDGs第15目標に生物多様性保全の重要性が明記されています。ヒトは生物多様性の恵みによって生かされていますから、環境改善の進む昨今、自然との共生を目指して探索します。	50～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン	
2001001	石川 和男			○	講演	○		愛媛の山・川・海	本県は海岸の暖温帯植生から石鎚山系の亜寒帯植生まで豊かな自然に恵まれている。宇和海のサンゴ群集は特筆される。野鳥、昆虫、植物などについて解説します。	50～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン	
2001001	石川 和男			○	講演	○		愛媛の自然を考える	生物多様性の減少要因としては、人工林の増加、河川や海岸のコンクリート護岸、干潟の激減などがあります。愛媛県下の現状を紹介し、望ましい自然、自然環境の復元について考えます。	50～90	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン	○
2001004	泉原 猛			○	学習会	○	○	自然から人工へーその功罪と現代の社会現象ー	鳥類の観察から教えられる現代社会の諸問題、その根源にあるものについて、生産と分配、相互扶助の視点から考えます。	30～120	○	○	○	○	○	○	○	室内野外とも、主に野鳥観察が中心	○
2001004	泉原 猛		○	○	学習会	○	○	バードウォッチングで学ぶ地球の暮らし	野鳥観察の実技(室内では映像、音源、資料等を使用)を通して、野生生物と人間の生活を比較し、社会生活や環境保護についての新しい考え方を学びます。	60～180	○	○	○	○	○	○	○	野外を歩ける服装	○
2001004	泉原 猛		○	○	学習会		○	里山を歩いて“人間”を取り戻そう	安全で楽しい里山歩きをしながら自然観察を行います。それを通して「五感」を取り戻し、人間本来の共存の暮らしについて体得します。	120～1日	○	○	○	○	○	○	○	野外を歩ける服装	
2001004	泉原 猛		○		講演	○		暮らしを豊かにー野生から学ぶー	野鳥の観察から教えられる「縄張り」を持った生き方、そこから得られる地球上でのヒトの新しい暮らし方について提案します。	30～120	○	○	○	○	○	○	○		○
2001004	泉原 猛			○	講演	○		最良の家庭教師を紹介しますー自然観察の中からー	野生生物の代表として鳥類を位置づけ、その観察方法と技術について学習します。そこから得られる人間の暮らし方の知恵を学びます。	30～120	○	○	○	○	○	○	○		○
2001011	岡山 健仁			○	学習会		○	石鎚山系の動植物にはどんなものがあるか	石鎚国定公園において、登山しながら野生生物を解説、観察を行います。	240	○	○	○	○	○	○		※石鎚国定公園 野外で活動できる服装	
2001011	岡山 健仁			○	学習会		○	サンショウウオの観察会	久万高原町において、源流に棲むサンショウウオ類について観察会を行います。	90	○	○	○	○		○		野外で活動できる服装、長ぐつ	
2001011	岡山 健仁			○	講演	○		石鎚山系の自然	石鎚山にすむ動・植物、地質を解説します。	90	○	○	○	○	○	○	○	筆記用具	○
2001011	岡山 健仁			○	講演	○		山にすむサンショウウオ	愛媛にすむ小型サンショウウオについて分類や生態を紹介します。	90	○	○	○	○	○	○	○	筆記用具	○
2001012	小川 晃宏	○	○		学習会	○		廃棄物のリサイクルについて考えよう	様々な廃棄物をいかにリサイクルを行うかについて(身の回りから考え、買うものについても考えて)	60	○	○	○	○	○	○	○	パソコン等	
2001012	小川 晃宏		○	○	学習会	○		海釣りから学ぼう	年々釣れる魚の時期が遅くなったりするのはなぜか。釣りのマナーについて(なんで海にポイ捨てするの)	60	○	○	○		○	○	○	パソコン等	
2001012	小川 晃宏		○	○	学習会	○		新人猟師のおっちゃんの話	有害鳥獣(猪、鹿など)が増えたのはなぜなのか。私が猟を始めるきっかけや、捕まえて解体する、そして頂くことについてのお話。	60	○	○	○		○	○	○	パソコン等	
2001012	小川 晃宏		○	○	学習会	○		温暖化について一緒に考えよう	温暖化の原因について、今私たちが何をすればよいのか、何ができるか。	60	○	○	○	○	○	○	○	パソコン等	
2001015	笠崎 宏之			○	学習会	○		カーネーションの茎頂培養	ウィルス除去の目的で器官培養を行います。葉原基を培地に植え付けると置床後60日で幼苗となります。本学習会では、カーネーションの側芽から茎頂を露出し、ガラス管内の培地への植え付け作業を行います。	60	○	○			○	○	○	無菌状態を保てる設備、準備物の事前打ち合わせが必要	
2001015	笠崎 宏之			○	講演	○		植物の増殖と無病苗育成	植物体の器官や組織、細胞を植物体から分離して、適当な培養環境条件のもと、個体を再生させます。この一連の技術を組織培養と呼んでいます。が、花・野菜・果木から数例を示し説明します。	60	○	○			○	○	○		
2001018	金城 正信		○		学習会		○	小型家電のリサイクルを通して都市鉱山(使用済み廃製品)を発掘しよう	身近な小型家電には、どのような貴重な金属資源が眠っているのかを理解し、実際に小型家電から金属資源が取り出される様子を見学する。	40～80	○	○	○	○				自社工場で実施	
2001018	金城 正信		○		学習会	○		リサイクル資源を使ってブローチを作ろう	リサイクル銅資源を使ってブローチ作りを体験し、身近なものがリサイクルによって綺麗な金属資源に生まれ変わることを知る。	30	○	○	○		○	○	○	20名程度までが望ましい	
2001018	金城 正信		○		学習会	○		環境かるた	環境をテーマにしたかるたで、遊びながらグループで環境について考える。	40～60	○	○	○		○	○	○		
2001018	金城 正信		○		学習会		○	まほうのクルマ工場～乗らなくなった車ってどうなるの？～	生活に身近な自動車がどのような過程でリサイクルされていくのか、廃自動車の回収から再資源化まで県内唯一自動車一貫リサイクルを行っている工場を見学する。	20～30	○	○	○					自社工場で実施	

2001018	金城 正信		○		学習会		○	金属のリサイクル工場を見てみよう	不要になった自動車や自動販売機などの大型の金属資源を細かく裁断し、各種金属に分ける工程を見学する。乗用車一台を数秒で粉碎できる大迫力の機械も見学可能。	30～	○	○	○	○					自社工場で実施	
2001018	金城 正信		○	○	講演	○		「もったいない」を学ぼう～未来の地球のためにできること～	3R、天然資源大国日本、江戸時代のリサイクルの話を通して「もったいない」について学習する。	30～90	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、マイク	○
2001018	金城 正信		○	○	講演	○		ゼロエミッションと循環型社会について	ゼロエミッションという考え方を通して、循環型社会の街づくりの必要性を国内外の事例に学びながら理解を深める。	45～90	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、マイク	○
2001018	金城 正信		○		講演	○		リサイクル最先端技術を学ぼう	物理学を応用したリサイクル技術や、AI等による最先端リサイクルの現状と将来性について知る。	60～		○		○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、マイク	○
2001018	金城 正信		○		講演	○		都市鉱山の金属リサイクルについて学ぼう	不要になった小型家電や自動車から金属を取り出し、都市鉱山の有効利用について学ぶ。	40～90	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、マイク	○
2001018	金城 正信		○	○	講演	○		地球環境問題の現状を知る	地球の歴史から環境問題の発生を考え、地球温暖化が深刻な問題になった原因、過去の水俣や手島等の環境問題の実情を再認識する。	40～90	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、マイク	○
2001022	小池 正照		○		学習会	○		紙のリサイクルを進めよう	これまでゴミ箱に捨てられていたリサイクル可能な紙を調べ、可燃ゴミの削減と紙リサイクルを促進します。	60	○	○	○	○	○	○	○			検討中
2001022	小池 正照		○		学習会		○	古紙回収工場見学会	回収された紙が持ち込まれる工場の様子や作業を見学し、リサイクルルートがどうなっているか、どう処理されているかを学びます。	60～90	○	○	○	○			○		※工場(松山市)へ来られる方	検討中
2001022	小池 正照	○			講演	○		事業所から発生する紙のリサイクルを考える	事業所ごみの中の紙くずや機密書類のリサイクルについて学習します。えひめエコリーグの取組についても紹介します。	90					○	○	○	○		検討中
2001022	小池 正照		○		講演	○		紙の分別方法やリサイクルについて考える	家庭の可燃ゴミを減らす紙の分別方法や紙リサイクル全般について学習します。	60～90	○	○	○	○	○	○	○			検討中
2001024	小林 真吾			○	学習会		○	海辺の生物観察(昼、夜)	砂浜や干潟、磯などの海岸で、生物の観察を行う。	60～90	○	○	○	○	○				場所:事前に打ち合わせが必要 準備物等:野外で活動できる服装	
2001024	小林 真吾			○	学習会		○	海岸漂着物の観察	海岸に流れついている様々なものを観察しながら、海の生き物や漂着ゴミについて学ぶ。	60～90	○	○	○	○	○	○	○		場所:事前に打ち合わせが必要 準備物等:野外で活動できる服装	
2001024	小林 真吾			○	学習会	○		海藻のおしば作り	身近な海に生息する海藻を材料として、おしばのハガキ作りを行いながら、海の環境と生物について学ぶ。	60～90	○	○	○	○	○	○	○		場所、準備物等:事前に打ち合わせが必要	
2001032	竹内 よし子		○		学習会	○		グローバル・ローカルかるた	さまざまな社会課題(環境・国際・平和・貧困・人権等)をかるたを使って理解し、意見交換・議論するワークショップ	60～120	○	○	○	○	○	○	○		かるたは貸出無料。 送料は実費負担お願いします。	○
2001032	竹内 よし子	○	○		講演	○		SDGs推進	SDGs(持続可能な開発目標、2016～2030年)の動向について説明し、四国の取り組み事例を紹介する。	60～120	○	○	○	○	○	○	○		プロジェクター等	○
2001040	林 弘		○	○	講演	○		地球温暖化と昆虫類の北上について考えよう	この100年の日本各地の気温の変化と、北へ分布を広げている昆虫類の生態について考える。	90			○	○	○	○	○	○	プロジェクター	
2001042	藤田 孝一	○			学習会	○		環境マネジメントシステム内部監査員教育	ISO14001:2015 内部監査員の養成及びレベルアップのための集合教育	420					○	○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			学習会	○		労働安全衛生マネジメントシステム内部監査員教育	ISO45001:2015 内部監査員の養成及びレベルアップのための集合教育	420					○	○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演	○		EMSとQMS統合システム構築	環境マネジメントシステムと品質マネジメントシステムの共通点と相違点、統合システムのメリット・デメリットについて	180					○	○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演	○		EMSとOHSMS統合システム構築	環境マネジメントシステムと労働安全衛生マネジメントシステムの共通点と相違点、統合システムのメリット・デメリットについて	180					○	○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001042	藤田 孝一	○			講演	○		EMSとその他のマネジメントシステムの統合	環境マネジメントシステムと他のマネジメントシステムの統合(複数システム統合)	180					○	○	○	○	液晶プロジェクター	○
2001043	松井 宏光			○	学習会	○	○	身の回りの植物を学ぶ	里地の植物について、特徴や人との関わりについて、実物を見ながら講演を行う。	90～120	○	○	○	○	○	○	○			
2001043	松井 宏光			○	学習会	○	○	身の回りの植物で遊ぶ	里地の植物を使った遊びを参加者が体験する。	90～120	○	○	○		○	○	○			

2001043	松井 宏光			○	学習会	○	○	身の回りの植物を食べる	里地の植物を摘んで実際に調理をして食べてみる。	90～120	○	○	○	○	○	○	○		
2001043	松井 宏光			○	講演	○		絶滅危惧種を守る	愛媛県の絶滅危惧種について紹介し、絶滅に至る要因も考える。	90～120		○	○	○	○	○	○		○
2001043	松井 宏光			○	講演	○		森林や草木の生態	森林の生い立ちや植物の生存戦略について扱う。	90～120		○	○	○	○	○	○		
2001043	松井 宏光			○	講演	○		生物多様性と人間	各種生態系サービスの紹介と人間生活との関わりを扱う。	90～120		○	○	○	○	○	○		
2001046	水本 孝志	○			学習会	○	○	緑のお宝探し自然環境図鑑	足元のお宝探しの《地元学》の発想で、地域の子どもたちや住民の皆さんと大いに歩き、巨樹銘木実測調査の記録や“無名百低山巡り”“野歩き道草塾”等で撮影した写真を基礎資料に、郷土愛溢れる『自然環境図鑑』づくりを各地で展開しています。	120～180	○	○	○	○	○	○	○	あればカメラとメガジャー	
2001046	水本 孝志		○		学習会		○	渚の納得清掃会ビーチコーミング	海洋を懸命に浄化している生物の観察→漂着物の分別回収→ゴミの脅威解説の手順で、全ての人工廃棄物が最後には川へ入り込み海に集結し、やがて地球全体を汚染する様子を現場体験して頂き、《ゴミを出さない暮らし》の大切さを啓発中です。	120～180	○	○	○	○	○	○	○	あれば箱メガネとゴミ入れ袋	
2001046	水本 孝志			○	学習会		○	さんきら自然楽校	植物と昆虫と野鳥と人の《命の繋がり観察会》を提唱・・・身近な生物を優れた“環境指標”として捉え、地球における彼らの素晴らしい「役割」と「共生関係」を科学的に紹介しつつ、乱開発や盗掘で追い詰められた“声無き声:SOS”を広く訴えています。	120～180	○	○	○	○	○	○	○	あれば、双眼鏡と虫眼鏡	
2001046	水本 孝志		○		講演		○	スライド上映地球環境講座	「在来種を駆逐する南方系生物の乱入」「酸性雨に涙する二宮金次郎」「回遊性動物を減ぼす砂防堤と巨大ダム」「温暖乾燥化で危うい水辺植物群」「強制移入・帰化生物の脅威」「環境問題はズバリ人間問題」等のテーマでスライド上映講義。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	暗室、スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード	
2001046	水本 孝志		○		講演		○	スライド上映エネルギー講座	「自然界の体内エネルギーVS人間界の人工エネルギー」「ハチクマにアサギマダラ・・・海を越える生物たち」「原子力発電と大型風車発電」「送電線の無い景観と暮しを求めて」「“節電”こそ最高にして最善の発電源!!」等のテーマでスライド上映講義。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	暗室、スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード	
2001046	水本 孝志			○	講演		○	スライド上映自然環境講座	「渡りの回廊：佐田岬半島の自然は今」「我が心の出石山スプリング・エフェメラルズ」「肱川水系の愛しき野鳥たち」「愛媛の池を訪ねて幾百里」「小田深山の花華巡り」「四国カルスト昆虫図鑑」「鬼ヶ城山系の高山植物群」などのテーマでスライド上映講義。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	暗室、スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード	
2001050	山本 貴仁			○	学習会		○	「自然観察会」森林の生きもの	身近な里山や石鎚山など天然林の森林で開催。森林の構造や生息する生き物について解説します。一年中可。	120～240	○	○	○	○	○			野外で活動できる服装。10～20人	
2001050	山本 貴仁			○	学習会		○	「自然観察会」水辺の生きもの	水田、水路、河川で開催。水辺にすむ様々な生き物を観察します。(夏期のみ)	120	○	○	○	○	○			10～20人 加茂川など水に入っている観察。	
2001050	山本 貴仁			○	学習会		○	「自然観察会」夕方観察会	空、夕日、コウモリなど様々な自然現象や生き物を観察します。やや大人向け。春～秋。	120	○	○	○	○	○			10～20人 河原、公園など空の広い所。	
2001051	吉田 啓二		○		学習会	○	○	リサイクルフリーマーケットを開催してみよう	ごみ減量化啓発活動として、リサイクルフリーマーケットの開催(主催)ノウハウを促します。	60	○	○	○	○	○	○	○	ビデオ	
2001051	吉田 啓二		○		講演	○		環境市民活動と行政との協働	立場、能力の違う者同士が、環境啓発という同じ目的に向けて協働をすすめる事を考えます。	90					○	○	○	ビデオ、スクリーン	
2002008	久枝 克則			○	学習会		○	1 温暖化の理解 2 CO2の排出の説明と、動物(人間で)由来のCO2排出の実験 3 P-Pにて、CO2の温室効果の例を引く	1 挨拶の後、光合成実験の開始。→今日の予定の概略を説明する。酸素を出す光合成の理論と実験を。 2 教室内のCO2濃度を子供たちと一緒に測定して、この空気のポリ袋に鉢もの植物を入れる。この時、CO2濃度と測定時間を記録する。この鉢を、屋外で太陽光を吸収させ始める。 3 「グスコーブドリの伝記」から入り、CO2には大気の温	40	○	○	○	○	○	○	○	学習会と講演セット(休憩15分、全体90分)エル・ニーニョ、台風、集中豪雨、竜巻などを付加させる場合もある	
2002008	久枝 克則			○	講演		○	4 CO2の排出と測定 5 極氷の融解の危機の説明 6 過去の長期の気候と、温暖化問題の将来に、子供たちに期待と終わる	4 P-Pにて、発電所・製鉄所・家庭などのCO2排出を説明。消石灰水溶液に、人の呼気のCO2を反応させて、CaCO3の沈殿を作らせて、CO2排出を認識させる。児童生徒に実験させる。 5 南極の氷床・棚氷、グリーンランドの氷床に写真を見てもらう。 6 縄文時代(トリスサール期)の気温変化と、海面の	35	○	○	○	○	○	○	○	学習会と講演セット(休憩15分、全体90分)エル・ニーニョ、台風、集中豪雨、竜巻などを付加させる場合もある	
2002010	藤本 豊實	○	○	○	学習会	○	○	森林再生の事例を学ぼう	銅の採掘により伐採と公害で被害を受けた森林を再生した事例を現地視察し、環境を守ることの大切さを学ぶミニツアーです。	180	○	○	○	○	○			※新居浜市集合 別子銅山記念館フォレストハウス開館日に限る。 バス又は自家用車が必要	
2002010	藤本 豊實	○	○	○	学習会	○	○	バイオマス発電について学ぼう	電力会社で実用化しているバイオマス発電設備を見学し、電気エネルギーについて考えます。	90	○	○	○	○	○			※西条市集合 四国電力西条発電所	
2002010	藤本 豊實	○	○	○	講演	○		電気エネルギーと地球温暖化について考えよう	水力発電、火力発電等各種発電方式の概要と地球温暖化への影響について考えます。	90	○	○	○	○	○	○	○	OHP又はパソコン、プロジェクター	
2002010	藤本 豊實	○	○	○	講演	○		私達にもできる省エネルギー	家庭や事業所で容易にできる省エネルギーについて具体的に学びます。	90	○	○	○	○	○	○	○	OHP又はパソコン、プロジェクター	
2002011	山本 栄治		○		学習会		○	土木構造物が動植物に及ぼす影響	道路、河川工事が、その地域に生息する動植物に及ぼす影響と、人間の生活環境に対する問題点を観察します。	90		○	○	○		○			
2002011	山本 栄治			○	学習会		○	森林の動植物の観察と調査法	昆虫、動物、魚介類などの観察による環境教育。中級者向けの専門的な調査方法の教修。	60	○	○	○	○		○			

2002011	山本 栄治			○	学習会	○	○	自然環境再生プロジェクト	自然更新を主とした自然林再生等の自然環境再生に関する研修・体験学習を通して各地域の環境を保全する。	50	○	○	○	○		○	○	地元産種子からの育苗・植林・草刈りなど	
2002011	山本 栄治			○	学習会		○	希少植物の増殖	希少植物の増殖・保全を行い、絶滅のおそれのあるを保存すると共に生物多様性の保全に貢献する。	30	○	○	○	○		○	○	地元産種子等からの増殖	
2002011	山本 栄治			○	学習会		○	林業体験による林業教育	植林、草刈り、枝打ち、間伐などの体験により人工林の管理方法を学び、自然林とのちがいを考えます。	60	○	○	○	○		○			
2003004	砂田 弘二郎		○		学習会	○		いま始めなければ(リサイクル全般)	豊かな地球環境を次世代に引き継ぐために、私達1人ひとりの身近な地球温暖化対策について、事例を示しながら、省エネルギー、リサイクル、ゴミ減量について説明します。	45～90	○	○	○	○	○	○	○	パワーポイント(USB) ※R3.6現在 内容を見直し中	○
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		森の話	森の生物の関係 森の恵(役割)について 生態系について	90～120	○	○	○			○			○
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		教えてビオトープ	ビオトープについて 相互の関係について ビオトープの増やし方について	90～120	○	○	○			○			○
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		生き物の不思議	昆虫の多様性について 昆虫の系統樹について 昆虫の相互関係について	90～120	○	○	○			○			○
2003006	丸橋 温			○	学習会	○		川の生きもの調べ	きれいな水と汚れた水について 水と水生生物について 具体的な関係について	90～120	○	○	○			○			○
2003006	丸橋 温			○	学習会		○	水生昆虫から見た水質調べ	川の物理的な環境調べ 川の水生生物の取り方と採集 水生生物から見た川の水の汚れについて	150	○	○	○			○		準備物について事前に打ち合わせ必要	
2003006	丸橋 温		○		講演	○		節約生活の勧め	地球温暖化について 未来の地球について 今できる節約生活について	90～120				○	○		○		○
2003006	丸橋 温			○	講演	○		外来生物を考える	外来生物の具体的な例示 その危険性について 私達の行動変化	90～120				○	○		○		○
2003006	丸橋 温			○	講演	○		自然再生について	生物の關係の例示 生態系について 何をどうすべきか	90～120				○	○		○		○
2003006	丸橋 温			○	講演	○		環境問題最近の話題	水の争奪戦争 フードマイレージ・フェアトレード 環境ホルモン等	90～120				○	○		○		○
2004008	西川 則孝		○		学習会	○	○	実感！食べるハーブの寄せうえ	ミニトマト、ミニピーマン、バジル、パセリ、ローズマリーetcを使って、料理の方法、生活への取り入れ方を説明します。寄せ植えをもって帰ります。	75	○	○	○	○	○	○		雨天のときは屋根が必要	
2004008	西川 則孝		○		学習会	○	○	トライしてみよう最高のハーブティー	レモングラス、レモンバーベナ、レモンタイム、レモンバーム、ミントetcを使って様々なティーブレンドを楽しみます。苗を持って帰り、家でも実践します。	75	○	○	○	○	○	○			
2004008	西川 則孝		○		学習会		○	無農薬有機農法による野菜づくりのコツ	家庭菜園を実践している現場で、野菜づくりのちょっとしたコツ、工夫を教えます。	90	○	○	○	○	○	○			
2004008	西川 則孝		○		講演	○		ちろりん農園の30年現場からの報告	1ターンで有機農法と出会い、とり組んできた足どりとたどりついた今のとりあえずの結論！	75		○		○	○	○			
2004008	西川 則孝			○	講演	○		地球に優しい農法とは	有機農法と自然農法の違いや問題点、生活へのとり入れ方などを教えます。	75	○	○	○	○	○	○			
2005002	北岡 一郎	○	○		講演	○		物流設備の問題点	物流は効率アップ。運搬機、車両の問題点。保管設備の問題点・・・安全と省エネ。	30					○	○	○	OHP	○
2006001	河合 洋一	○			学習会	○		環境マネジメントシステム	企業等における環境取組の方法について、エコアクション21を中心に社内環境管理の仕組み作りを解説します。	60～120					○	○	○	○	パソコン、プロジェクター
2006003	松田 久司		○		学習会		○	早春におたまじゃくしを観察しよう	ヤマアカガエルやニホンアカガエルが、早春に産卵しています。そのおたまじゃくしの体のひみつを観察します。室内も借りられれば、実体顕微鏡でより細かく観察できます。	120	○	○	○	○			○	田んぼや水路 長靴や寒いので防寒具等	
2006003	松田 久司		○		学習会		○	ホタル生態観察	ゲンジボタルやヘイケボタルを観察しながら、その生態を解説します。室内も借りられれば、写真を用いて詳しく解説できます。	120	○	○	○	○			○		○
2006003	松田 久司		○		学習会		○	セミの抜け殻調べ隊	セミの抜け殻を探しながら、種類の見分け方などを解説します。室内も借りられれば、写真を用いて詳しく解説できます。	120	○	○	○	○		○	○	フィルムケースがあれば抜け殻が壊れにくい	○

2006003	松田 久司		○		学習会		○	バードウォッチング	冬の田んぼ、ため池周辺、林など、場所や季節に応じて、野鳥を観察し、その生態を解説します。	120	○	○	○	○		○	○	あれば、双眼鏡		
2006003	松田 久司		○		学習会		○	水生生物の観察	小学4年生で行われる水生昆虫などの観察を行います。小学4年以外でも、幼稚園(保護者といっしょに)から高校生までを対象として実施した実績があります。	90	○	○	○	○			○			
2006003	松田 久司		○		講演	○		早春に産卵するアカガエル類の生態	ヤマアカガエルやニホンアカガエルが、早春に産卵しています。その卵塊調査は水辺の指標になるといわれており、継続している調査のようすも解説します。	90			○	○	○		○	プレゼン・ソフトが動作するPCなど	○	
2006003	松田 久司		○		講演	○		生きものが復活できる水路整備の提案	現在の水田は水路と間を、魚が行き来できにくくなっていますが、それを改善した事例を紹介します。	90					○		○	プレゼン・ソフトが動作するPCなど	○	
2006004	中村 優理子		○		学習会	○		地球温暖化の基礎知識＋リサイクル工作	「地球温暖化」をIPCCの最新の報告書に基づいて基礎から優しく学ぶ学習会(クイズ形式)です。リサイクル工作(紙すきや自然物を使った工作など)をご希望の場合はご相談ください。	40～80	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。工作の場合はハサミなど。	○	
2006004	中村 優理子		○		学習会	○		食品ロスの現状と対策	まだ食べられるのに捨てられている食品ロスの現状や課題について勉強します。冷蔵庫の整理ポイントや食品ロスを減らすレシピ、フードバンクやフードドライブについてもお話します。	40～120	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)	○	
2006004	中村 優理子		○		学習会	○		プラスチックと環境問題	2050年には海を漂うプラスチックの量が魚の量を超えと言われるおり、世界中で問題になっている海洋プラスチックごみ問題。プラスチックと賢く付き合う「プラスチック・スマート」について基礎から優しくお話しします。松山市内の場合はプラスチックのごみ分別や分別後のリサイクル海岸で清掃活動を行います。海洋ごみに関するクイズや集めたごみの分析を行います(分析については国際的な手法(JEAN提供)とします)。また、プラスチックと賢く付き合う「プラスチック・スマート」について基礎から優しくお話しします。松山市内の場合はプラスチックのごみ分	40～120	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。	○
2006004	中村 優理子		○		学習会		○	ビーチクリーン	ごみ分別や集めたごみの分析を行います(分析については国際的な手法(JEAN提供)とします)。また、プラスチックと賢く付き合う「プラスチック・スマート」について基礎から優しくお話しします。松山市内の場合はプラスチックのごみ分	40～120	○	○	○	○	○	○	○	集めたごみの処分を各自治体と相談してください。		
2006005	中村 優理子		○		学習会	○		ごみのお話＋リサイクル工作	ごみ分別やごみ減量、リサイクルについてお話しします。リサイクル工作(紙すきや自然物を使った工作など)をご希望の場合はご相談ください。	40～81	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。工作の場合はハサミなど。	○	
2006005	中村 優理子		○		学習会	○		生活の中でできる地球温暖化対策	省エネやごみの減量、リサイクル、エシカル消費など生活の中での取組についてご紹介します。	30～120	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、PCなど(なければ資料で説明します)。	○	
2006005	中村 優理子		○	○	学習会	○		環境絵本の読み聞かせ	環境問題を取り上げた絵本やスライド(海を守るももとうろ)など読み聞かせと解説(こども向け)	15～30	○	○	○			○	○		○	
2007005	曽我 晃	○			学習会	○		ISO14001について	ISO14001の目的、認証取得の意義、効果的なシステムを考える。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター		
2007005	曽我 晃	○			学習会	○		地球温暖化について	地球温暖化とは？その原因、防止のためにどのような取組みができるのかを考える。	60	○	○	○	○	○	○	○			
2007007	中村 敬治			○	学習会	○	○	原木きのご栽培学習	毎年1月下旬に小学校等で4～5箇所実施する。環境の大切さ、菌類の役割、キノコ等について室内学習を45分間。屋外で原木への植菌実習を1時間。自宅管理用のチラシを配布して、植菌木は全て参加者が持ち帰り自宅や山林内で適正に管理。シイタケの発生が始まる11月以降から発生観察、収穫体験、食味体験をする。季節が来れば発生するので、その後3～4年間同様の体験をしてもら	120	○			○	○		○	日程調整等の事前協議	○	
2007008	森高 準一	○	○		学習会	○		ゴミは、どこへ行くの？	家庭から出る分別ゴミは、どのようにして処理されているか、ゴミからできた副産物は何に使われているのか、皆さんの税金で処理されているゴミのモラル向上へ	60	○	○	○	○	○	○	○			
2007008	森高 準一	○			講演	○		環境リサイクルの有効活用事例	ガラスビンの商品化有効利用事例の紹介、ゴミの熔融スラグの有効事例の紹介、「捨てればゴミ、活かせば資源」	60	○	○	○	○	○	○	○			
2007008	森高 準一	○	○		講演	○		炭焼きは地球を救う	木質バイオマスとして「炭焼き」を導入して、環境資源化する事例を発表。水の浄化作用、土壌改良、農業用改良材、生活の中まで使える黒いダイヤモンド。	60	○	○	○	○	○	○	○			
2007008	森高 準一	○	○		講演	○		地球温暖化の危機	現在おかれている温暖化の現状を少しでも改善する施策の事例発表、緑化の最先端を報告する。	60	○	○	○	○	○	○	○			
2008001	菊間 彰			○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド	プロジェクト・ワイルドは、体験学習法を用いた環境教育プログラムです。150以上あるアクティビティの中から対象や目的に合わせてアレンジできます。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	体を動かせるスペースが必要		
2008001	菊間 彰			○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド指導者養成研修	プロジェクト・ワイルドを実施できる資格「エデュケーター」を取得できる研修です。学校の総合学習や地域での環境学習に活用できます。	480(1日)					○	○	○	人数は20人程度が望ましい。		
2008001	菊間 彰			○	学習会	○	○	インタープリテーション体験	その土地の自然や文化をわかりやすく体験的に伝える手法を「インタープリテーション」といいます。知識をつめこむのではない「楽しい自然体験」を実施します。	60～180	○	○	○	○	○	○	○	人数は20～30人程度	○	
2008001	菊間 彰			○	講演	○		エコツアー入門	地域資源を生かし、環境を保全しながら行う観光のスタイルを「エコツアー」と言い、そのための考え方や、しくみのことを「エコツーリズム」と言います。基礎からわかりやすくお伝えします。	60～90					○	○	○	パワーポイント、スクリーン等	○	
2008001	菊間 彰			○	講演	○		自然体験活動ってなに？	自然のことを「勉強」するのではなく、「体験」してそこから学ぶ「自然体験活動」のニーズが全国的に高まっています。全国の事例を紹介しながら、最先端の状況をお伝えします。	60～90					○	○	○	パワーポイント、スクリーン等	○	

2008001	菊間 彰				○	講演	○		森と人とのよりよい関係	森林率67%と、世界にほこる森林大国である日本。でも昔とちがいが、今日本の森には元気がありません。なぜなのか？どうしたらいいかを一緒に考えましょう。ワークショップ形式での実施も可能です。	45～60	○	○	○	○	○	○	○	○	パワーポイント、スクリーン等	○
2008002	近藤 康夫	○	○			講演	○		自然エネルギーを利用した発電技術	火力・原子力発電の現状と地球温暖化を考え、太陽光発電・風力発電をはじめ地熱・太陽熱・海洋温度差・波力発電技術などの現状と将来性を学ぶ。	90					○	○	○	○	プロジェクタ	
2008002	近藤 康夫	○	○			講演	○		太陽電池の話	太陽電池の原理、種類と性質を考え、各種の応用分野と将来性を学ぶ。	60			○	○	○	○	○	○	プロジェクタ	
2008002	近藤 康夫	○	○			講演	○		小水力発電	農業用水路、小川、山間の渓流の水の落差を利用した小水力発電について、水車の型式、発電方式及び蓄電等について解説する。	60			○	○	○	○	○	○	プロジェクタ	
2008005	黒田 慧史				○	学習会		○	自然観察	身近な里山、森林、河川をフィールドに、野鳥、虫、植物などの観察を実施する。	60～120	○	○	○					○	野外で活動できる服装	○
2009001	高村 靖				○	学習会	○		環境ブック・トーク	環境問題に関する書籍に関するブック・トークを行い、理解を深め、行動のきっかけづくりにします。	60～90					○	○	○	○	特になし	
2009002	谷 清				○	学習会		○	森林の動きを考えてみよう	私たちの身近にある森林をフィールドに、樹木の成長、森林土壌の保水力や落葉、落枝の生物による分解など森林の動きを理解する。	60	○	○	○	○				○	汚れてもかまわない服装で参加	
2009002	谷 清				○	講演	○		森林の働きと林業の問題点について学ぼう	愛媛県の林業の現状と問題点を考えつつ、森林のもつ公益的機能を理解し、地球温暖化防止の役割について共に考える。	60			○	○	○			○	スライド又はOHPの準備	
2009005	村尾 卓爾	○	○			学習会	○		地球温暖化防止活動としての省エネルギー対策を知る。	地球温暖化の主原因である温暖化ガスの排出を減少させる対策として、生活の中での省エネルギーを考える。教材のモノづくり体験も行う。	90	○	○	○				○		理・技家実験室スライド、インターネット利用	
2009005	村尾 卓爾	○				講演	○		省エネルギーと地球の温暖化	エネルギー消費の現状と歴史を取り上げ、地球の温暖化の原因と対策について省エネルギー問題を主として講演する。	60	○	○	○				○		スライド、インターネット	
2009008	射手 建雄	○	○	○		学習会	○		エコな買い物の仕方について考えてみよう	参加型の紙芝居で旬の学び・旬産旬消とエネルギー消費・食べ物と環境へのつながりについて気づき、グループ毎に行う、カレーライス食材の買い物疑似体験とワークショップで、環境改善につなげるための食材の買い物の仕方について、自分たちに何ができるのかを考える。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20～30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄	○	○	○		学習会	○		食料自給率と地球環境影響の関係について考えよう	我が国の食料自給率低下による海外から食料輸入時のエネルギー消費・食料生産に伴う多量の水消費・輸入された食料の無駄な消費が地球環境に影響及ぼしている現状と輸入に頼るがゆえに我が国がおかれている食料危機を参加型の学習で気づき、「食べることの新たな地球の温暖化と調理への太陽エネルギー利用状況」を学び、身近な材料でソーラクッカーを製作して、水の加熱実験・体験をする。そして、実用のソーラクッカーで加熱料理を体験し、太陽エネルギーが身近の生活に利用できることを気づかせる。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20～30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄		○	○		学習会	○	○	ソーラクッカーを作って太陽エネルギーを感じよう		120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20～30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄		○	○		学習会	○		身近な水の汚れを調べてみよう	水と人間のかかわりと身近な川の汚れの原因、そして水の浄化にもエネルギーが必要となることを参加型の学習から学び、身近の川の水と家庭から出る各種洗浄水の汚れの程度(COD・透視度)を分析・体験し、生活の仕方について環境改善につなげるために自分たちについて環境改善につなげるために自分たちに生き物のからだの50%以上が水できている実験や雲を作る実験と地球をめぐる水の旅ゲームとで、水について体験的に学び、雲ができる不思議さや地球上には人が生きていくために利用できる水の量に限りがあることと、その量の少なさに気づいてもらう。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20～30名程度が望ましい	
2009008	射手 建雄		○			学習会		○	いつもの校庭で自然探検しよう	校庭という日常の身近な環境の中で、見る・聞く・触る・嗅ぐの感覚を使うネイチャーゲームで、いつもの校庭内を探検し、楽しみながら自然をぎゅっさせる。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前の打ち合わせが必要、20～30名程度の人数が望ましい	
2010002	菊間 裕子				○	学習会		○	五感で感じる自然	五感を使ったさまざまなアクティビティ(活動)を組み合わせた環境教育プログラム。楽しいゲームや体験を通じて、新たな視点、自然の魅力、ふしぎさを発見します。	120	○	○	○	○	○	○	○			
2010002	菊間 裕子				○	学習会	○	○	プロジェクト・ワイルド	アメリカ発祥の優れた環境教育プログラム。体験学習法に基づき、ゲームを通じて生態系のしくみを楽しく学ぶことができます。150種類以上のアクティビティ(活動)の中から最も効果的なものを選び実施します。	60～120	○	○	○	○	○	○	○			
2010002	菊間 裕子				○	学習会		○	動物探偵団になろう	動物の痕跡(足あと、フン、食べあとなど)を探しながらフィールドを歩き、どんな動物が暮らしているのかを探ります。意外と身近に暮らす動物たちの存在を知り、自然の豊かさ、つきあい方を考えます。	120	○	○	○	○	○	○	○			
2010002	菊間 裕子				○	講演	○		動物スライドトーク	自動撮影カメラ等で撮影した地元の動物の写真スライドを見たり、動物の実物痕跡に触れたりして、普段は会えないが身近に暮らす動物たちの存在を知り、親しみを持つことができます。	60	○	○	○	○	○	○	○		プロジェクター、スクリーン	○
2010002	菊間 裕子				○	講演	○		自然とともにのびのび育つ森のようちえん	乳幼児期の自然体験を提供する活動「森のようちえん」自然の中で自由に遊ぶことで成長し、感性、力、心をのばすこともたち。実践している「森のてらこや」の様子をスライド等で紹介しながら自然体験の大切さについて考えてもらいます。	60				○	○	○	○		プロジェクター、スクリーン	
2010003	清家 亀幸		○			学習会	○		“Eco dream”「環境問題への新たな取り組みと挑戦」	ソーラーカー・EVカー・太陽光発電等を通じ、新エネルギー開発や環境問題解決への取組む方々を考える。また、環境問題に対する意識を高め、その実用性・可能性を探る事とし、同時に環境問題解決に取り組むプログラムとして、小・中学生への啓発活動にも取り組む。	45～90	○	○	○			○	○	○	準備物について事前の打ち合わせ	○
2010003	清家 亀幸		○			学習会	○		“Eco dream”「環境問題への新たな取り組みと挑戦」	「愛媛ベレット」の紹介。製材工場で捨てられ、燃やされたりする木くずや樹皮などの製材廃材や、山に木を植えたあとに間引く間伐材や、お金にならずに捨てられた木を粉碎・圧縮し、成形した固形燃料の有用性を紹介する。この「愛媛ベレット」は、長期間の保存・備蓄が可能	45	○	○	○			○	○	○	準備物について事前の打ち合わせ	○

2010003	清家 亀幸			○	○	学習会	○	○	“藻場・アマモ場の再生保全” 「宇和海(愛媛県)ブルーカーボンプロジェクト」	ブルーカーボンで地球温暖化を防ぎ、脱炭素社会を目指すと共に、自然豊かな宇和海の藻場の再生・保全に関する具体的技術や現状を学びます。また、域内沿岸部での生物多様性を育む環境教育を内容を実践します。	45～90	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○
2010003	清家 亀幸			○	○	学習会	○	○	海洋プラスチック・マイクロプラスチックの現状とその有効活用について」	世界中でプラスチックごみの問題が注目されており、その中の1つとしてマイクロプラスチックの問題がクローズアップされている。身近な海岸でマイクロプラスチックの調査・観察を実際に行うことで、何気なく使っているプラスチック製品の環境影響の一端を知ってもら	45～90	○	○	○	○	○	○	○	準備物について事前に打ち合わせ	○
2010004	瀧野 隆志				○	学習会		○	身近な野鳥観察会	地域で身近な野鳥観察をすることで、地域にたくさん生きものが暮らしていることを実感できる観察会を行います。小学校の生徒でも対応可能です。	120	○	○	○	○			○	双眼鏡(ない場合でも20台貸し出せます)	
2010004	瀧野 隆志				○	学習会		○	シジュウカラやヤマガラ用の巣箱設置	樹洞が減っている場所でシジュウカラやヤマガラ用の巣箱を設置して、身近な自然に興味を持つための活動を行います。小学校の生徒でも対応可能です。設置した後、冬の前に、使用状況やメンテナンスの仕方についての活動を行うこともできます。	120	○	○	○	○			○	脚立、ノコや差し金など(ない場合でもある程度貸し出せます)	
2010004	瀧野 隆志				○	学習会	○		写真でチェック 地域でくらす身近な野鳥	見分けないので気づいていない自分たちの地域で暮らしている身近な野鳥の特徴や見分け方を写真で紹介します。「身近な野鳥観察会」の雨の時のプログラムとしても使えます。	60	○	○	○	○			○	パソコン、プロジェクター、スクリーン	
2010005	年森 恭子			○		学習会	○		食事と環境	地産地消、旬産旬消、フードマイレージやパーチャルウォーターなど、食に関わる環境知識の講座。	40～60	○	○	○	○	○	○	○	人数、時間、対象、ご希望などは電話で打ち合わせ	
2010005	年森 恭子			○	○	学習会	○	○	自然を愛する俳句を作ろう	自然環境のミニ講義のあと季節を想定して俳句で残す。	45	○	○	○	○	○	○	○	人数、時間、対象、ご希望などは電話で打ち合わせ	
2010006	濱口 英之	○	○			学習会	○	○	エネルギーを学ぶ工作	LEDや太陽電池を利用して、工作を行い、省エネルギーなどについて学び、地球温暖化防止に関する理解を促します。	90～120	○			○			○	材料費が必要となりますので事前にご相談下さい。	
2010006	濱口 英之			○		学習会		○	自然エネルギーを体験しよう	ソーラークッカーの利用体験などを通じて、くらしの中のエネルギーについてや地球温暖化防止などについて学びます。	45～120	○	○	○	○	○	○	○		○
2010006	濱口 英之			○		学習会	○		リサイクルメッセージカードをつくらう	古紙をリサイクルして、メッセージカードづくりを体験することで、リサイクルやエネルギー利用について学び、地球温暖化防止に関する理解を促します。	45～120	○			○			○		
2010006	濱口 英之			○		講演	○		これからはじめるエコ活動	地球温暖化防止についての基礎的な内容や自分たちで環境学習をはじめるためのポイントなどを紹介します。	45～120				○	○	○	○	○	○
2010006	濱口 英之			○		講演	○		地球温暖化防止とエネルギー	温暖化の影響や私たちが行うことのできとりくみを紹介しながら温暖化防止や私たちが利用しているエネルギーについて学びます。	45～90	○			○		○	○	○	○
2011001	窪田 聖一				○	学習会	○	○	昆虫採集教室	昆虫採集を通じて、愛媛県の生物多様性を実感してもらう。 昆虫の採集、採集した昆虫の標本作りを行う。	180	○	○	○	○	○	○	○	レクリエーション保険、事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一				○	学習会		○	チョウ類モニタリング調査	環境省のチョウ類モニタリング調査の手法を学ぶことで、生物多様性の調査手法をマスターする。	120	○	○	○	○	○	○	○	レクリエーション保険、事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一				○	学習会		○	オオムラサギ観察会	国蝶のオオムラサギが雄大に飛んでいる姿を観察し、愛媛県の自然環境を実感してもらう。	120	○	○	○	○			○	事前打合せ必要	
2011001	窪田 聖一				○	講演	○		愛媛県のチョウ	愛媛県に生息するチョウの概要や、絶滅危惧種の状況について学び、生物多様性の実態を理解してもらう。	60	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、パソコン、スクリーン	
2011001	窪田 聖一				○	講演	○		愛媛県の昆虫	愛媛県に生息する昆虫の概要や、絶滅危惧種の状況について学び、生物多様性の実態を理解してもらう。	60	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、パソコン、スクリーン	
2011001	窪田 聖一				○	講演	○		環境保全型農業	環境保全型農業に関する法律や栽培方法、病害虫防除法について学び、環境に負荷を与えない農業について理解を深める。	60					○	○	○	プロジェクター、パソコン、スクリーン	
2011002	玉井 修二				○	講演	○		スマート農業の現状	急傾斜柑橘園におけるスマート農業の実施	50	○	○	○	○			○	講演会場でパワーポイントを使用	
2012003	永易 弘三			○		学習会		○	生ごみの失敗しない堆肥化技術を学ぼう	生ごみを堆肥化する技術は、非常に簡単ではありませんが、基本的なことを理解していないと失敗します。失敗しないために微生物の働きを理解したうえで更に実習にて取得する。	60	○	○	○	○	○			屋外でも実施できる施設が望ましい	
2012005	中村 洋祐	○				講演	○		廃棄物からの資源回収について	廃棄物からの有用金属、有用資源の回収について、バクテリアを用いる方法や化学的な処理方法についてパワーポイント(以下PP)等で説明	90		○	○	○	○	○	○	PP使用可能であること	○
2012005	中村 洋祐	○				講演	○		下水汚泥等の焼却灰からのリン資源の回収について	将来枯渇が懸念されているリンについて、下水汚泥等生物由来廃棄物からのリン回収の必要性、回収技術についてPPで説明	90		○	○	○	○	○	○	PP使用可能であること	○
2012006	今川 義康				○	学習会		○	昆虫観察会	春のチョウから秋のバタまで、多様な昆虫を観察します。セミや秋の鳴く虫については特に詳しい講座も開催します。	約120	○	○	○	○	○			定員20名程度	

2012006	今川 義康				○	学習会			○	自然観察会	身近な里山等で通年開催可。生物の生息環境やつながり、自然の仕組み等の解説を入れながら観察します。	約120	○	○	○	○	○			定員20名程度		
2012007	黒川 理恵子				○	学習会				段ボールコンポスト講習会「簡単！段ボールを使って、生ゴミを肥料にしよう！」	段ボールを使い家庭の生ゴミを堆肥化して利用する講習会。微生物分解法(堆肥化、メタン化)によるもので、簡単に出来、材料もすぐ手に入る。①約50%のダンボール箱(40cm位)を用意する。②ビートモス(200)1袋と、モミガラ重炭(120)1袋を箱に入れて混ぜる。③生ゴミワークシートを使って、川に対するいろいろな観点からの評価を記入し、それによってその川の自然度がどのくらいか自分で判定してみる。判断する材料にする項目としては「自分の目で見た、水の汚れ」「生き物から見た水の汚れ」「流れの様子」「川原の利用の様子」「川原の植物から見た川の様子」「土手の様子」「川のまわりのようす」「ゴミのようす」などの各項目で3点から0点の得点をつ山の中で、目を閉じるによりどれだけの音を聞き探ることが出来るか、普段は聞き過ぎているが自然の音が沢山あることを知る。各自好きな場所に座り静かに目を閉じしばらく自然界の音を聞き探る。そしてその音を画用紙に図で表現してみる。	60	○	○	○	○	○	○			段ボール・ビートモス・薫炭・生ゴミ・糠・スコップ・温度計	○
2012007	黒川 理恵子				○	学習会			○	川の自然度調べ「この川はどのくらいきれいかな？」	川の自然度調べ「この川はどのくらいきれいかな？」	120	○	○	○	○	○	○	場所：川 記用具	筆	○	
2012007	黒川 理恵子				○	学習会			○	サウンドマップ	サウンドマップ	120	○	○	○	○	○	○	場所：山 用紙・筆記用具	画	○	
2012007	黒川 理恵子				○	講演			○	段ボールコンポスト講習会「簡単！段ボールを使って、生ゴミを肥料にしよう！」	上記の実習の説明に加えて、家庭の生ゴミが堆肥という貴重な資源に変わることの意味を講義する。	120	○	○	○	○	○	○	○	段ボール・ビートモス・薫炭・生ゴミ・糠・スコップ・温度計	○	
2012007	黒川 理恵子				○	講演			○	遺伝子組み換え食品の問題と食育	遺伝子組み換え食品とはどんなものか知る。また、普段家庭での食事がいかに大切か、そしてそれが子どもの成長に与える影響について。また、最近の食事の問題点などを取り上げて、食育の話をする。	60		○		○	○	○		なし	○	
2012007	黒川 理恵子				○	講演			○	「地球温暖化のはなし」	地球温暖化は今では誰もがしるところとなった、しかし実は気候学はまだまた新しい学問で多様な温暖化に対する異論もある。温暖化の原因は本当にCO2なのか？そもそも地球は本当に温暖化しているのか？等について一緒に考える講座。	120		○		○	○	○		なし	○	
2012008	八束 典子	○	○			学習会		○		身近な野菜から地産地消を考えよう	旬の食材について野菜トランプなどを活用して楽しく学習し、地域で生産された新鮮な農林水産物を地域内において消費し、食料自給率の向上や直売所や加工の取組などを知り行動をうながす。	120	○		○	○	○	○	○	野菜トランプ パソコン プロジェクター	○	
2012008	八束 典子	○	○			講演			○	3R(4R)から考えよう	3つ(4つ)のRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある資源を有効に繰り返し使う社会(循環型社会)をつくる考えの理解を深め行動を促す。	90	○		○	○	○	○	○	パソコン プロジェクター	○	
2012008	松本 啓文				○	学習会		○		共有地について考えるワークショップ	簡単な漁業ゲームを通して、どうして魚が減るのか、どうすれば魚を取りつくさずに済むのかを考え、そこから地球に住み続けることも考えていくワークショップです。	60	○	○	○	○	○	○	○	模造紙、ペン、サイコロ		
2013002	田中 徳博				○	学習会			○	木・林・森のなりたち	身近な木で木の友達や親を探す。気に入った葉の観察、形や色(光を通じて)	30～45	○						○	野外活動できる服装、ルーベ		
2013003	大西 憲太郎				○	学習会			○	自然の不思議を探そう	身近な里山、森林をフィールドにして自然を観察し、参加者全員で自然の不思議を見つけ、皆で考える。	240	○	○	○	○		○		野外で活動できる服装		
2013003	大西 憲太郎				○	講演			○	愛媛の自然のすばらしさを感じよう	愛媛県内に残っている自然のすばらしさを紹介し、いつまでも残していくためにはどうしたらよいか参加者全員で考える。	180	○	○	○	○		○		パワーポイント、プロジェクター		
2013004	高橋 佐智子				○	学習会		○	○	森につながる楽しい時間	年齢、場所、人数、時間に合わせて対応します。「わくわく、どきどき、わいわい」心動く時間、空間をつくり、その中で様々な感じ方から、自分と森とのつながりをつくってもらう。木のおもちやで遊んだり、トントンギコギコしたり、お絵か木や絵本…要望に合わせながら。木の絵本で森の循環のことを知ってもらう。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	○	出張もしくは榊大五木材での実施	
2013004	高橋 佐智子				○	学習会			○	自然遊び	自宅周辺、普通の公園でも幼い子どもを先生にすると、自然とのふれあいを楽しく始めることができます。そういったことを教えるのではなく、感じてもらう時間、空間をつくります。	60～120				○		○		未就学の子どもが対象。出張もしくは榊大五木材での実施出張の場合は下見が必要		
2013005	平原 拡				○	学習会			○	さとらみ・さとやま探訪～身近な自然にふれてみよう	身近な海浜、里山・里地などにおける生き物観察、ネイチャーゲームなどを通じて、自然の仕組み、生物の多様性、自然と人間との関わりについて考えます。	90～120	○	○	○		○	○		事前調査、準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拡				○	学習会			○	プロジェクト・ワイルド	アメリカ生まれの環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」から、楽しみながら自然について学ぶアクティビティ(活動)を実施します。	60～90	○	○	○	○	○	○		事前調査、準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拡				○	講演		○		人間・環境・地球～エコ活動をはじめよう	人間の経済活動、生活と環境との関わり合いについて、身近な問題やグローバルな視点から考えるトピックを提供し、環境保全のためにアクションを起こすきっかけを示唆します。	60～90	○	○			○	○	○	準備物の打合せが必要		
2013005	平原 拡				○	講演		○		みること、感じること～自然観察へのいざない	R・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』ほかを教材に読書会を行い、「知ることよりも感じることに」に力点を置いた自然観察の基本原則について概説します。	60～90					○	○	○	○	準備物の打合せが必要	
2013006	水口 定臣	○				講演		○		企業における環境保全について	公害や廃棄物等の環境規制状況の推移や現状について解説し、今後取るべき環境保全対策について講演する。	60～120					○	○	○	○	プロジェクター	○
2013006	水口 定臣				○	講演		○		えひめの環境	愛媛県内の環境や、廃棄物の過去からの推移や現状について解説し、現在の対策と今後の展望について講演する。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター	○
2014001	後藤田 直良	○				学習会		○		段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化の方法	段ボールコンポストを使って生ごみを処理し、堆肥化する方法。(実演、ワークショップにて実施)	60～90			○	○	○	○	○	○	パワーポイント、プロジェクター、段ボールコンポスター式	○
2014001	後藤田 直良	○				講演		○		うちエコ診断ってどんな制度～うち(家庭)から始めるエコ診断～	うちエコ診断の制度についてどの様な制度なのか解説し、実際に、どの様にエコ診断をするか、具体的にお話して家庭でのエコ活動に役立ことを学びます。	60～90					○	○	○	○	パワーポイント、プロジェクター	○

2014001	後藤田 直良	○			講演	○		ごみ減量に関する教育	ごみ分別と3Rについて ①実際のゴミを使つての分別クイズ ②3Rの内容と新居浜の取り組み事例紹介 ③ごみ減量の実践活動について	60～90	○	○	○	○	○	○	○	パワーポイント、プロジェクター	○
2014002	加藤 忠一		○		学習会	○		生ゴミのたい肥化によるゴミ減量化を推進する	生ゴミのたい肥化の方法を指導する。ダンボールコンポスト、据付けコンポスト、水切りバケツなどの選択範囲を広げ、たい肥による野菜、花造りへと楽しみを広げる。	60					○	○		10～20名程度	
2014004	西尾 知照			○	学習会	○		サンゴの海の生き物たち	宇和海で撮影した水中写真やサンゴ等の標本を使って、生き物たちの不思議な生態について学習します。また、サンゴを中心として成り立っている生物多様性やサンゴの保護活動についても紹介します。	45～90	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター、スクリーン、パソコン	
2014005	松田 孝一		○		学習会	○		生ごみのたい肥化	生ごみたい肥化方法のコツと、生ごみたい肥の活用方法を説明します。	60	○	○	○	○	○	○		プロジェクター	
2014005	松田 孝一		○		講演	○		公害の歴史と環境管理の必要性	公害は発生してから解決するまでには非常に長い時間がかかっています。今までどのような公害が発生したのか、今後生活環境をどう改善すれば良いのか考えていきます。	60	○	○	○	○	○	○		プロジェクター	
2014006	清水 正憲	○	○		学習会	○		太陽光発電所の実際	太陽光発電のしくみを説明、実際の発電データを開示してメリット、デメリットを示します。	30			○	○	○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲		○		学習会	○		我家で出来る省エネルギー	家庭でのエネルギー消費量を理解して省エネルギーの進め方を考えてゆきます。また、二酸化炭素排出量を計算してどの程度削減できるかを理解します。	40				○	○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲		○		学習会	○		自家用車の省エネ	電気自動車での省エネを考察してCO2排出量を少なくする方法を考えます。実際のBEV運行データを開示してCO2削減量も求めます。	30					○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014006	清水 正憲		○		講演	○		家庭での温暖化防止にチャレンジ	各家庭で排出されるCO2を計算してCO2排出量を少なくする行動を考えます。(省エネ取組、ゴーヤカーテン効果等)	30	○	○	○		○	○	○	液晶プロジェクター、接続ケーブル(PC)	○
2014007	藤井 祐大			○	学習会		○	みつけて はっけん！	自然を歩いてみたい！だけど何をしたらいいの？ 子どもに土や緑をさわらせてあげたいけど少し不安だな。 ゲームやあそびを通して自然を好きになる「きっかけ」をお届けします。	要相談	○			○		○		野外で活動できる服装 20名程度	
2014008	高橋 孝昭		○		学習会	○		家庭での生ごみ堆肥作り	ダンボールコンポスト等を使用して台所から出る生ごみを堆肥にする意義と方法をそして、得られた堆肥で花や野菜を栽培する方法を学ぶ。	60					○	○			
2014008	高橋 孝昭		○		講演	○		エコビープルになって環境問題に取り組もう	「環境社会検定試験(eco検定)」の合格者を「エコビープル」と呼びます。検定を受験する過程で色々な環境問題を学べることを伝え、環境に関心を持ってもらう。	40					○	○			
2014009	武知 悦子		○		学習会	○		エネルギーって何？！ エネルギー今昔物語	電気エネルギーによって便利な現代と電気エネルギーのなかった江戸の暮らしを比べながら、エネルギーについて一緒に考えよう。腹話術の人形ぐりおくんも一緒に考えます。	30～40	○	○	○	○	○	○	○	長机、事前打ち合わせ必要	○
2014009	武知 悦子		○		学習会	○		電気エネルギーと地球温暖化の関係について学ぼう	「電気はどこからやってくるの？」また電気エネルギーが及ぼす地球温暖化との関係をエプロンシアター、パネルシアターなどを使って解り易く説明し、子ども達と考えます。	45	○	○	○	○	○	○	○	長机、事前打ち合わせ必要	○
2014009	武知 悦子			○	学習会	○		木に遊ぶ、木で遊ぶ、ホン木で遊ぶ	木育ひろば、木のおもちゃで遊んだり、木のおもちゃを作ったり、木のおはなしを聞いたり…と、五感で遊ぶことによって森への関心を高めます。	60～120	○	○	○	○	○	○	○	場所によって打ち合わせ必要	○ ※"木のおもちゃで遊ぶ"を除く
2014009	武知 悦子			○	講演	○		おさんぽてくてく、自然とタッチ！	自然観察。馴染みのある住んでいる地域の近所を「てくてく、おさんぽ」。虫。花などを見つけて観察することによって、自然と仲良くなる活動。それに伴う絵本の選定おはなし会もあります。	90～120	○			○		○	○	場所によって打ち合わせ必要	○ ※おさんぽを除く
2015001	法橋 弥生			○	学習会		○	身近な自然の草木染	身近な自然を観察しながら、植物の採集を行い、草木染をします。自然と科学を同時に学ぶプログラムです。	120	○	○	○	○	○	○		火気。水道が使用できること	
2015001	法橋 弥生			○	学習会		○	「自然観察会」 身近な自然観察	市街地から里山まで、人々の暮らす場所の近くにある身近な自然を観察し、地域を衣発見するプログラムです。	120					○	○	○	野外で活動できる服装 10～20人	
2015001	法橋 弥生			○	講演	○		草木染の歴史	日本の自然と共に存在してきた草木染の歴史を色と植物と一緒に学びます。	90					○	○	○	プロジェクター使用	
2015002	窪田 譲治			○	学習会	○		釣りと海の保全	簡単な防波堤釣りの紹介を通してマナー、禁止行為、危険な行為(ゴミや釣り糸を捨てない、小さい魚はリリース)を知り、海を大事にすることを学ぶ。	60	○	○	○		○	○	○	準備物について事前打ち合わせ	
2015002	窪田 譲治	○			講演	○		事業系の環境保全	企業における地球温暖化対策、廃棄物削減、資源の有効活用方法等について共に考える。又、ISO14001の概要、環境関連法律について学ぶ。	60～90					○	○	○	スライドの用意。事前打ち合わせ。	
2015002	窪田 譲治	○	○	○	講演	○		地球温暖化と我々がなすべきこと	近年異常気象が頻発している。その原因は地球温暖化(気候変動)の可能性が高く、その現状を正しく理解し、これからの温暖化防止に向けて、私たちができることを共に考える。(IPCC AR5報告書)	60～90	○	○	○	○	○	○	○	スライドの用意。事前打ち合わせ。	
2015004	霜村 一郎		○		学習会	○	○	海ゴミアートによる海浜環境保全美化活動と環境工作教室での環境教育	プログラム 開会式→ゴミの分別指導・説明→海岸清掃活動・海ゴミアート素材収集→昼食→近隣施設内にて海の環境工作教室→作品品評会 表彰→閉会式 ゴミのポイ捨て撲滅宣言→海ゴミアート展示会 作品展示	240～300	○	○	○	○	○	○	○	清掃海岸・近隣屋内施設・野外活動できる服装	

2015004	霜村 一郎		○		講演	○		海ゴミアートって何？ 次世代を担う子供達 への海の環境教育	(1)愛媛県南予地方予和海岸の魅力・強み・地域資源とは (2)真珠貝大量斃死問題から学ぶ海の環境再生の道しるべ (3)海ゴミアートって何？ (4)事業内容の概要 (5)海ゴミアート事業の狙い	90	○	○	○	○	○	○	○	○	○	プロジェクター・スクリーン	○
2015005	野満 育朗			○	学習会		○	rrrrr	山から海まで一望できる里山の自然農園を体感するツアー。米、野菜を味わい、植物、昆虫に触れ、山の木々、水、風を感じるツアー。	60	○	○	○		○					当農園にて行います	
2015005	野満 育朗			○	学習会		○	田植え体験	自然農法による田植え体験 お米、農、環境の話	120	○	○	○	○	○					当農園にて行います	
2015005	野満 育朗			○	学習会		○	稲刈り体験	自然農法による稲刈り体験 お米、農、環境の話	120	○	○	○	○	○					当農園にて行います	
2015005	野満 育朗			○	講演	○		自然農法って何？	農法にもいろいろあるが、それぞれどういう農法なのか、そのメリット、デメリット、自然農法(環境保全型農業)のコツなどの話	60	○	○	○	○	○	○	○				○
2015005	野満 育朗			○	講演	○		移住、自然農業、自然な暮らしの体験記	都会から地方へ。古民家を改修、田畑を開墾して自然農園を開く。食からエネルギーまで環境にやさしい自然な暮らしをする。11年目の農園の体験記	60	○	○	○	○	○	○	○				○
2016001	山岡 ヒロミ			○	学習会	○		共に生きるために、私たちにできること	私たちの便利で豊かな暮らしが、同じ地球に暮らす野生動物から多くのものを奪ってきた。とべ動物園の絶滅の危機に瀕した動物を題材にして、地球で共に生きていくために、何ができるのかを一緒に考える。	45～60	○	○	○	○			○	○	プロジェクター・スクリーンの準備		
2016002	鷲野 陽子		○		学習会		○	道端の草木で染めてみよう	身近な里山、草地にある雑草で「色」をとり出す？！ どんな色に染まるのか、季節や水、天気や染める布による違いも体験を通して再発見していきます。	120	○	○	○	○	○	○	○		汚れてもよい服 手袋(ゴム)		
2016002	鷲野 陽子		○		学習会		○	草から糸をつくる	草麻、葛から糸をつくる。昔の人はすべての道具を自然界から頂き、作りだしていました。身近なところにある草(植物)から繊維を取り出し、手を使って作りだす体験をしましょう。	60～120	○	○	○	○	○	○	○		季節(5～7月)		
2016002	鷲野 陽子		○	○	講演	○		自然と暮らす	山林での生活、動物とのくらし、保存食づくり、森の恵みや自然のサイクルに左右される暮らしと知恵など	45～60	○			○	○		○		屋内OK	○	
2016003	横内 薫		○		学習会	○		地球温暖化防止(気候変動・空気浄化)	地球温暖化の緊急性と抑制に関わる植林と空気(CO2)の浄化と削減、ケナフ植林など	120	○	○	○	○	○	○	○	○	ボード撮影機	○ (土・日希望)	
2016003	横内 薫		○		講演	○		地球温暖化防止	地球温暖化の原因と経過などを抑制するにはどうすればよいか	120	○	○	○	○	○	○	○	○	ボード撮影機	○ (土・日希望)	
2016004	薦田 敏良			○	学習会	○		森の工作教室(室内)	自然木の小枝を使って、昆虫や動物、恐竜のおもちゃ、木のパッチ、ストラップなどを作ります。自然木と触れ合うことを通じて、森への関心を高めます。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	15名～30名程度、準備物は要相談		
2016004	薦田 敏良			○	学習会		○	森の工作教室(野外)	公園や森に落ちている木の実や落ち葉、松ぼっくりを拾い集めて、ネイチャークラフトに挑戦します。木の名前や木の特徴を知り、森林を体感できる時間を作ります。	120	○	○	○		○	○	○		公園・緑地など、実施場所は要相談		
2016004	薦田 敏良			○	学習会		○	林業・里山体験教室	森林・里山・竹林に出かけ、間伐等作業見学、タケノコ採り、竹の切だし体験、竹工作、杉枝リース作りなどを通じて、森と人とかかわりの歴史を一緒に考えていきます。	120				○		○	○	○	森林・里山など、実施場所は要相談		
2016005	白石 成行			○	学習会		○	水生昆虫の採集と水質判定	河川に生息する底生昆虫を採集し、同定することで、川の水質を判定し、川の生物を守り、増やそうとする意識をもたせる。	90	○	○	○	○	○	○	○	○	川に入れる服装 人数により採集道具	○	
2016005	白石 成行			○	学習会		○	海浜植物を調べよう	浜辺に生息する海浜植物を観察し、種類と生育の仕方を調べることににより、海岸の自然を守ろうとする心を育む。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	海浜植物が生えている砂浜	○	
2016005	白石 成行			○	学習会		○	チョウ・トンボを調べよう	身近に生息するチョウやトンボの種類を調べることを通じて、幼虫が食べる植物や底生昆虫を知り、自然に親しむ。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	30名程度の人数	○	
2016005	白石 成行			○	学習会		○	地層の露頭の観察と化石観察	人里近くで見られる露頭の観察を通して地質構造を調べるとともに現地で見られる化石から、過去の自然環境を知る。	120	○	○	○	○	○	○	○	○	岩石ハンマー、ルーペ	○	
2016005	白石 成行			○	講演	○		タガメの保護と飼育方法	水生昆虫で最も大型のタガメの生態や生息の様子を知り、生息に必要な自然環境や繁殖方法について考える。	60	○	○	○	○	○	○	○	○	PC・プロジェクター・スクリーン	○	
2016006	光澤 安衣子			○	学習会	○	○	ミジンコ教室 ー水の中のミクロの世界ー	海や池のプランクトンを採集し、顕微鏡で観察する。	60～90	○	○	○	○	○	○			スクリーン、プロジェクタ		
2016006	光澤 安衣子			○	学習会		○	干潟の生き物観察会	西条市加茂川の干潟にすむ多様な生物を観察する。	60～90	○	○	○	○	○				長靴、スコップ、バケツ、手洗いう		
2016006	光澤 安衣子			○	学習会		○	星空教室 ー季節の星空観察ー	各季節にみえる星座を観察する。	30～60	○	○	○	○	○	○	○				

2020005	小澤 潤			○	学習会		○	干潟の機能と大切さについて学ぼう	愛媛県内でも数少なくなってきた干潟。そこにはたくさんの生き物たちが生育しています。干潟の機能と干潟の生物多様性について学ぶ自然観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	湿地の生き物について学ぼう	愛媛県内でも数が少なくなった湿地に生育する生き物たちを観察し、湿地の成因と湿地の意義について考える自然観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	砂浜の自然観察会	全国でも5番目に長く、美しい愛媛の海岸。そこにはたくさんの生き物たちを育んでいます。全国に誇れる愛媛県の海岸生物多様性についてご紹介します。	45～60	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	わくわく水(ウォーター)エコツアー	美しい湧き水の河川やため池でそこに生育する生き物を観察し森里川海のつながりを学びます。愛媛の貴重な水草類を見ることが出来ます。	90	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	廃墟廃集落廃鉱ツアー	愛媛県内の廃集落を訪れ、人が関わることで育んだ自然環境を観察します。鉱山独特の生物や歴史を学びます。道からの観察のみで敷地侵入撮影はNG 最も人気の高い観察会です。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	日本の歌で綴る里山観察会	唱歌や童謡など里山の自然環境を歌った歌がたくさんあります。豊かな自然の中で自然や歌の意味を解説しながら歌を歌う楽しい観察会です。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	投げ釣り自然観察会	投げ釣りを行うことで魚ばかりでなく、上がってきたアマモ、やゴミなど海の環境を考えます。楽しみながら海の環境を知る観察会です。環境省広島事務所主催で実施しました。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会	○		苔玉教室	種子から発芽させた森の雑木を使い苔玉づくりを行います。単に苔玉を作るだけではなく、コケの性質やコケの役割などについて説明します。	90	○	○	○	○	○	○	○	材料費必要	
2020005	小澤 潤			○	学習会	○		ちりめんモンスターを探せ	ちりめんじゃこの中に入っている小さな生き物たちを探します。海の仲間生物多様性と現状について学びます。	45～60	○	○	○	○	○	○	○	材料費必要	
2020005	小澤 潤			○	学習会	○	○	リースづくり観察会	木の実や植物のつるなどを採取しリースを作ります。その中でたくさんの木の木の違い蔓の果たす森の役割について説明します。	90	○	○	○	○	○	○	○	材料費必要	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	森のようちえん森育	幼稚園児から小学校低学年まで森の中で自由に遊びます。いろいろな生き物に関心がある子供たちに生き物たちの魅力を教えます。	90	○			○		○	○	できれば保護者にも参加して欲しいです。	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	生物多様性ホットスポット自然観察会	愛媛県でも特に自然環境の良い生物多様性が見られる場所で植物を中心とした自然観察会を行います。	90	○	○	○	○	○	○		野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会	○	○	自然物を使った絵画講座	山や河原、海岸などで自然物を拾ってきて絵画を作ります。また海岸の貝やシーグラスを使ったフォトフレームなどもできます。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	学習会		○	森のドングリ自然観察会	ドングリの生育している森に入り、ドングリの特徴やその種類について説明し、森林の仕組みとその大切な機能について説明します。	90	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装で参加	
2020005	小澤 潤			○	講演	○		愛媛の日本一美しい海岸線	江戸時代外国人たちに震えがくるほど美しいと感動させた瀬戸内海。その中の2人の植物学者と江戸時代の世界に誇る園芸文化・大衆文化を対比させながら、愛媛の海岸線が日本一美しい理由を展開していきます。	90	○	○	○	○	○	○			○
2020005	小澤 潤			○	講演	○		里山は語る・今治城の多様な自然	今治城の自然環境調査によって解明した今治城の生物多様性についてわかりやすくお話しします。珍しいお堀の生き物や不思議な現象についての美しい映像で説明します。	90	○	○	○	○		○	今治市		○
2020005	小澤 潤			○	講演	○		愛媛の100年前の環境教育	100年位前から各地で植物誌が作成されました。理科教育の始まったこの時代は教科書がなく、先生自らが調べ地域の自然を把握しました。今の自然と比較しながらお話しします。	60			○	○	○	○			○
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		風力発電装置を作ってエネルギー問題を考えよう	風力発電装置を製作したり、電力に関わる日本のエネルギー需要に関するデータを調べたりする活動を通して、持続可能な社会の実現に向けて、どのような課題があるのか考えていきます。	90～120	○	○	○	○	○	○	○	材料費1500円程度 ブラスドライバー等はんだ付け体験あり(希望者) 小学校高学年～	
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		手作り電池を作ってエネルギー問題を考えよう	一人一人が炭電池を作ってモーターを回したり、仲間と協力してモーターの回転数を上げたりする活動を通して、電気に関する基礎・基本を理解するとともに、エネルギーを消費することの意味を考えていきます。	90～120	○	○	○	○	○	○	○	材料費200円程度 小学校高学年～	
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		化石レプリカを作って生物の進化と絶滅について考えよう	化石のレプリカを製作したり、いろいろな種の絶滅の原因を学ぶことを通して、地球の環境変化で絶滅した種と、人間の活動が原因となって絶滅した種があることを理解していきます。	60～90	○	○	○	○	○	○	○	材料費内容により200～500円程度 絵具筆等 小学校高学年～	
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		自然の素材で楽しい工作をしよう	木材や木の実など、自然の素材を生かした時計や置物などを製作しながら、自然の豊かさに気付くとともに、地域の自然を大切にしていこうとする心情を育てていきます。	60～90			○	○	○	○	○	材料費内容により500～1000円程度 ボンド、グルーガン等	
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		木の実の標本を作ろう	どんぐりなどの木の実の標本を製作しながら、植物の名前や特徴を知るとともに、地域の自然や季節の変化に興味・関心を持ち、生命や自然環境を大切にしていこうとする心を育てていきます。	45～90	○	○	○	○	○	○	○	材料費内容により500～1500円程度 ボンド等	
2021001	村上 圭司			○	学習会	○		フライングシードを作って植物の巧みな戦略を知ろう	フライングシードを模した工作を楽しんだり、特徴的で戦略的な子孫の残し方をする植物のことを学ぶことを通して、命の巧みに驚くとともに、種の多様性を守ろうという心情を育んでいきます。	45～90	○	○	○			○	○	材料費内容により100～500円程度 ハサミ、ボンド等 小学校高学年～	

2021002	山中 三沙貴	○			学習会	○		2030SDGsゲーム体験	「自分の行動の全てが地球で起きていることとつながっている＆自分が起点」であることをカードゲーム(2030SDGsゲーム)で体験することで、地球環境とSDGsについての理解を深めます。	90～135	○						○	○	○	小学5・6年生が望ましい(中学生以上×) 60名まで対応可 スクリーン、ホワイトボード、プロジェクター、長机、色鉛筆				
2021002	山中 三沙貴	○			学習会	○		「地球温暖化×ブロック」共創ワークショップ	「ブロックをつくって、語る」を繰り返すことで、自分の内側にある無意識を自覚し、地球環境について意識的な行動になるできるよう奔走します。	90～180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小学5年生～が望ましい 1回あたり40名まで スクリーン、プロジェクター、ブロックを入れるタッパ(深め)	○ (但し、事前に実施先にブロックを送付・後日回収ができない場合は不可)			
2021002	山中 三沙貴	○			学習会	○		Get The Pointゲーム体験	「持続可能とは？地球の資源とは？」をゲームで体験することで、地球環境と自分の未来について考えていきます。	90～150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1回あたり40名まで スクリーン、プロジェクター、長机				
2021003	鷲野 宏			○	学習会	○		次世代に残す森林、過去と現在から学ぶ	森林植生の遷移を過去と現在の航空写真を見ながら説明を行い、これからの世代がどのように森林環境と付き合っていくのかを共に考える	60～120							○	○	○	スクリーン・プロジェクター又はモニター	○			
2022001	上石 倭瑚			○	学習会		○	バードウォッチング～鳥をもっと身近に～	河川や田畑がある里山にて、野鳥に注目し、どのような生活をしているのか、観察を行う。鳥の探し方や、痕跡の見方、注目すべき鳥の特徴など、年代に合わせたガイドを行います。	90～120	○	○	○	○	○			○	○	活動しやすい服(あれば)双眼鏡 20～25名まで 河川など野鳥が観察できそうな場所 悪天候不可				
2022001	上石 倭瑚			○	講演	○		『鳥』という分類では大きすぎる？～種ごとに違う行動や体～	鳥の体の仕組みから、食べ物や生活について考えたり、翼のこと、羽根のことなどを楽しく知ることができるものです。本物の羽根も見ながら、部位ごとに形や機能が違うことも分かりやすく解説します。	要相談			○	○	○			○	○	ホワイトボード・パワーポイントが映せるプロジェクターがある施設	○			
2022001	上石 倭瑚			○	講演	○		ヒトと川と鳥～小田川の例にみる鳥との共生～	近自然工法を用いた小田川の例をもとに、ヒトと川、そして生物との共生をいかにして行うか、近自然工法を行ってから数十年経った“今”の環境を客観的にみる。川と生物についての理解を深める。	要相談							○		○	○	ホワイトボード・パワーポイントが映せるプロジェクターがある施設	○		
2022002	原 恭介			○	学習会	○		①地球温暖化につて ②プラスチックごみ問題 ③エネルギー問題 ④温暖化と食糧問題など	一方通行の講義形式ではなく、テーマ毎に受講者が自ら考え意見交換する「対話形式」の講座を目指します。 また事例を紹介しながら、1人1人ができる具体的な行動についても一緒に考えます。	60～120	○	○	○	○	○	○				プロジェクター	○			
2022002	原 恭介			○	学習会		○	環境関連施設の見学会	環境に積極的に取り組む近隣の企業や施設などを見学することにより、環境への取り組みの実態を学びます。	120(移動時間を除く)								○	○	参加者の意向を聞いて訪問先を決定				
2022002	原 恭介			○	講演	○		気候変動、脱炭素など地球環境に関する講座	地球環境に関するテーマを受講者に応じて講演(お話)します。 環境問題は難しいという意見をよく聞きますが、世界の最近の動向などを含めて分かりやすく説明します。	60	○	○	○	○	○	○				プロジェクター	○			
2023001	戸井 和彦			○	学習会	○		着なくなったTシャツからマイバックを作ろう	着なくなったTシャツをリユースしてマイバックに作り変える活動を行います。切る、結ぶ、結ぶなどの作業をして40分くらいで出来上がりです。縫う作業はないので、簡単にできます。最後に作ったものの発表会などをします。みんな大満足です。	90	○								○	○	着なくなったTシャツ			
2023001	戸井 和彦			○	学習会	○		再生紙を使っておもしろ紙工作	まず、紙について書かれている絵本を読み、紙のリサイクルについて学びます。その後、再生紙を使って動いたり、飛んだりするおもちゃを作ります。作ったもので遊んだり、競争したりします。紙以外の材料と組み合わせて作るメニューもあります。子どもたちは飽きるまで遊ぶことを健康により和食の素材であるかつお節ができるまでの過程をテキストなどで学びます。その後、実際に削り器を使ってかつお節(枯節)の削り体験をしたり、飲み比べをしたりすることなどを通して、海の豊かさを守っていくことの大切さに気付いていきます。	60	○			○						○	○	○	はさみ マジック セロテープ	
2023001	戸井 和彦			○	学習会	○		かつお節削り体験を通して海の環境を考えよう	かつお節削り体験を通して海の環境を考えよう	60	○	○						○	○	○	軍手 エプロン マスク、三角巾(コロナ等の影響で体験ができない場合があります)			
2023001	戸井 和彦			○	学習会	○		ブラステックを再生する仕組み	ペットボトルのラベルからしおりを作ったり、植物油のエコソルブを使って発泡スチロールを溶かしスタンプを作る実験などを通してブラステックの再生について考える	60～90	○	○							○	○	新聞 湯、アイロン、ラベルのついたペットボトル			
2023001	戸井 和彦			○	学習会	○		植物の種の飛ばし方	自然界の身近な植物の隠れた特徴を絵本、図鑑などで知り、それを画用紙や折り紙などを使って再現し、自然のすばらしさを感じます。	50	○			○							はさみ ノリ など			
2023002	山中 裕加			○	学習会		○	若竹を収穫して竹林整備に参加しよう！	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・若竹の収穫の意味と収穫方法のレクチャー(参加者に実際に収穫してもらえます。 ※参加者の年齢に応じて講義や実習の内容を	120	○	○			○	○	○	○	○	※4月末～5月中旬のみ開催 準備物:軍手、汚れてもいい服(長袖長ズボン)、水分				
2023002	山中 裕加			○	学習会	○		竹を加工して、マイ食器を作ろう！	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・竹材を活用した製品づくりワークショップ 竹箸、竹コップ、おもちゃ(モルック)、竹灯籠、竹筒ご飯 など	120	○	○	○	○	○	○	○	○	○	準備物:軍手、長袖長ズボン ※竹材の準備が必要な場合、材料代と加工費がかかります(費用は加工程度と量に準拠) 準備物:なし				
2023002	山中 裕加			○	学習会	○		竹パウダー一段ボールコンポストを試してみよう！	・竹林の現状と整備・活用の必要性の講義(竹林を放置する問題点と整備の方法、公民でできること、活用事例等) ・竹パウダー一段ボールコンポストの使い方ワークショップ 嫌気発酵させた竹パウダー(竹幹をチップパーで	90		○	○	○	○	○	○	○	○	参加者に基材(竹パウダーとモミガラクンタン)を配布する場合、準備可能です(有料)	○			
2023002	山中 裕加			○	講演	○		地域資源を活用した商品開発について	・山林資源を活用した六次産業化について 自社商品「メンマチヨ」の商品開発事例を元に講義 ・竹林を活用した商品開発のワークショップ	60～150			○		○	○	○	○	○	ワークショップ内容は参加者に応じて要事前相談	○			
2024001	田村裕太郎			○	学習会		○	石鎚の森で自然遊びを楽しもう	自然の中で遊ぶってどうすればいいのか、様々な自然の遊び方についてレクチャーし、実際に遊んでみます。遊ぶことで自然との距離が近くなり、環境への意識向上を図ります。	希望に合わせて	○	○	○	○						場所は石鎚ふれあいの里にて実施、事前打ち合わせが必要。				
2024001	田村裕太郎			○	学習会		○	季節ごとの採って食べるを楽しもう	春は山菜や椎茸、夏は野菜、秋は木の実、冬は果実等、季節ごとの採って食べるを実際に行い、自然や食の大切さを改めて認識できる機会をつくります。	希望に合わせて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	場所は石鎚ふれあいの里にて実施、事前打ち合わせが必要。				
2024001	田村裕太郎			○	講演	○		限界集落の現状とやるべきこと	石鎚山麓大保木地区の例を用いて、限界集落と呼ばれる集落の課題の多い現状や、課題とどのように向き合うのかについて実践事例を解説します。	希望に合わせて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実際に現地で実施することでフィールドワークも可能。	○			
2024002	武智 礼央			○	学習会		○	水辺の昆虫調査！	春(3～6月)または秋冬(10～2月)に、安全が確保できるため池や河川で水生昆虫の調査。主にトンボ類の幼虫や水生カメムシ類、水生甲虫類を採集・観察し、それぞれの昆虫の特徴やどのように棲み分けを行っているか、また、種構成を知ることによってその水辺の多様性の高さ、環	120	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水辺で活動できる服装 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可				

2024002	武智 礼央			○	学習会	○	夜の鳴く虫の声を楽しもう	秋(9,10月)の暗い時間帯に、安全が確保できる草地や林縁でコオロギ・キリギリス類の鳴き声を聴いたり、鳴いている様子を観察したりして、どのような鳴き声をしているかやどのような環境に棲んでいるか、また、それぞれの種の飼育の仕方などを学びます。	120	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装、懐中電灯が必要 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可	
2024002	武智 礼央			○	学習会	○	身近な昆虫を見つけて学ぼう	春(4～6月)または秋(10,11月)に、身近な野山や田畑、公園などでよく見られる昆虫を観察・採集し、それらの形態・生態的特徴や危険性などについて学びます。近年増加傾向にある外来種や南方系の種についても紹介します。 ※散策場所近くの公民館や学校などの施設内	120	○	○	○	○	○	○	○	野外で活動できる服装 親子で最大30名 教員等補助がいる場合は、児童(生徒)のみで30名程度も可	
2025001	懸田 剛			○	学習会	○	豊かな里山の湿地帯ビオトープに住む生き物を観察しよう。	内子町大瀬南の湿地帯ビオトープで、まちなかでは出会えない、絶滅危惧種を含めた様々な動植物を観察しましょう。観察後に現地の自治会館を借りて湿地帯ビオトープに関する座学・対話型の学習会を組み合わせることも可能です。	120～240	○	○	○	○	○	○	○	開催は大瀬南の現地に起こし頂く必要があります。準備についてお打ち合わせが必要です。	
2025001	懸田 剛			○	講演	○	豊かな湿地の魅力と役割を考えよう	内子町で管理している休耕田を使った湿地帯ビオトープを題材にして、豊かな湿地に住む生き物の紹介、都市部の水田との比較、湿地が環境に与える役割についてお話しします。	60	○	○	○	○	○	○	○	内容に付いて応相談	○
2025001	懸田 剛			○	講演	○	誰でもできる自宅のビオトープ作りの魅力と管理のコツを学ぼう	近年、本も出版されて全国的に話題になっている「自宅で湿地帯ビオトープ」について、その魅力、作り方、注意点、をお伝えします。	60	○	○	○	○	○	○	○	内容に付いて応相談	○
2025001	懸田 剛			○	学習会	○	ブラ舟ビオトープを作ってみよう	ブラ舟による湿地帯ビオトープで生き物の住処を作ろう。座学＋実際のブラ舟を使ったビオトープの設計を行い、実際に作ってみます。学校で開催する場合は、グループごとに分かれてワークを行います。講義回を分けて、(1)座学＋設計、(2)制作、(3)(1月後に)観察と解説、と	60～120	○	○	○	○	○	○	○	ブラ舟は事前準備し、動植物はできれば近くの小川や水田での採集が望ましいです。季節は春～秋	
2025002	村上 真琴			○	学習会	○	心地よい地球へ私たちが今出来る一歩を考えよう	海や川からの漂着ゴミから見える今の地球のお話しとディスカッション 私たちの小さな世界から変えていくことが未来につながる～今出来るアクション、小さな疑問や問題についてみんなで考えよう～(屋内・野外どちらでも可)	60～120	○	○	○	○	○	○	○	スクリーン プロジェクター 長机 その他漂着物等 事前打ち合わせ必要	○